



学校だより 9月号

か さ ま

令和3年9月1日

No.484 横浜市立笠間小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kasama/>

【学校教育目標】 かがやくひとみ さわやかえがお まごころいっぱい かさまの子

## 感謝の心

～東京2020オリンピック・パラリンピックに思う～

校長 中里 純子

新型コロナウイルスの猛威によって実施そのものが危ぶまれ、多くの会場で無観客の開催となり、数々の苦難を強いられることとなった東京2020オリンピック・パラリンピック。コロナのもとで、外出が出来ないため、開会式を含め、じっくりと自宅で観戦をすることができました。その中で、今年、競技後のインタビューで多くの選手たちが「感謝」という言葉を口にしていたのが印象的でした。

「厳しい状況の中、大会を開催してくださり本当に感謝しています。」「開催に直接・間接的に関わった多くの方々に感謝します。」「海外から参加してくれた選手に感謝のメッセージを伝えたい。」

困難を乗り越えてきたからこそ、状況が厳しかったからこそ、自然と出る心からの「感謝」の言葉であったと思います。

夏休みが明け、今日から学校が始まります。23日に「夏休み延長と時間短縮」の通知が、続いて、26日には「時間短縮と緊急受入れ」の通知が出ました。子どもたち、保護者や地域の皆様に混乱が起こらぬよう、その日から毎日のように校内で話し合い、対応策を考えてまいりました。そんな中、集団登校班をはじめPTA役員の皆様が、学校からの知らせをもとに、すぐに対応に動いてくださっていることを知りました。また、見守り隊や見守りボランティアの皆様は、学校にお電話を下さり、「分散登校時の登下校の時間を教えてください。子どもたちの見守りは任せてくださいね。」という心強いお言葉をいただきました。こうした皆様の支えとご協力に心からの「感謝」の気持ちが沸き上がりました。と同時に学校としての責任を強く感じているところです。

横浜市内では、夏休み中の子どもの感染者数が急増し、昨年度一年間の感染者数を上回っています。学校内においては、今一度、感染防止対策について子どもと一緒に確認をし、コロナに関連する差別や偏見を生まない指導も続けてまいります。一方、今後、再度臨時休業を余儀なくされた場合に備えて、一人一台端末を使った家庭学習への準備も進めています。

保護者の皆様、地域の皆様に支えられていることに「感謝」の気持ちを忘れず、今後も安全・安心な学校づくりに努めてまいります。引き続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



アマビエ